

令和7年度 自治区改善取組発表会

日 時 令和7年11月28日（金）午後2時～
場 所 豊田市福祉センター 4階44～47会議室

次 第

開会

1 豊田市区長会長 あいさつ

2 改善取組発表（<>内は、質疑応答を含めた発表時間）

【第1部】 デジタル化による自治区事務の効率化について<20分>・・・1ページ
発表者：舞木町自治区 磯村区長
林副区長

【第2部】 共助交通の取組について<20分>・・・・・・・・・・・・・・11ページ
発表者：水源町自治区 小林区長
水源カーシェアさくら会 渡邊会長

【第3部】 LINEによる自治区の情報発信について<20分>・・・・・・・・25ページ
発表者：五ヶ丘第5自治区 中山区長
五ヶ丘第8自治区 高村区長

（閉会）

舞木町自治区における デジタル化への取り組み

QRコード受付とデジタルサイネージ の導入による業務効率化

豊田市地域交流課主催「自治区改善取り組み発表会」
令和7年11月28日
舞木町自治区区長磯村嘉美
副区長 林 憲生（発表）



舞木町自治区の紹介

舞木町の概要

舞木町(まいぎちょう)自治区は、豊田市西部、猿投山(さなげやま)のふもとに近い自然豊かな地域で、人口 約500 人・世帯数 160 世帯の小規模ながら落ち着いた地域です。

主要な産業は 桃を中心とした果樹園経営で、地域の風景と暮らしを支える基幹産業となっています。

地域の運営と課題

大規模事業者の進出は少なく、自治区運営の主な財源は区費と豊田市からの補助金によって支えられています。

限られた予算の中でも、住民協働による環境美化活動や行事運営を工夫しながら継続してきたことが、舞木町の大きな強みです。

近年の取り組み

近年は、役員の負担増と担い手不足を背景に、業務効率化・情報共有を目的としたデジタル化を推進しています。

今回の報告では、その取り組み内容と成果をご紹介します。





はじめに：地域運営の変革へ

私たちが直面する課題

- ・ 地域運営における紙中心作業の負担増大
- ・ 回覧板の遅延や未達による情報格差の発生
- ・ デジタルネイティブ世代への対応の遅れ
- ・ 事務作業に追われる役員の疲弊

私たちの目指す姿

「効率化と情報共有による地域運営のスマート化」
誰もが必要な情報にアクセスでき、役員の負担が軽減される持続可能な地域運営を実現します。デジタル技術を活用しながら、誰一人取り残さない仕組みづくりを進めています。



地域活動の共通課題



事務作業の負担増

- ・ 紙資料の準備、配布、回収、集計作業に多大な時間と労力が必要
- ・ 手作業による転記ミスも発生



情報伝達の非効率

- ・ 回覧板の遅延や未達が頻発し、重要な情報が住民に届かない問題が発生
- ・ 情報格差の拡大



デジタル対応の遅れ

- ・ 若年層や働く世代への情報提供手段が限られ、地域活動への参加障壁となっている
- ・ 次世代との接点が減少



改善の方向性

効率化 × 情報共有 × 次世代対応

誰でも扱える簡単さ

特別な知識やスキルがなくても、誰もが使いこなせるシンプルなデジタル化を目指します。

ICTを身近な道具に

難しい技術ではなく、日常生活で使う便利な道具としてICTを活用します。

持続可能な運営

一時的な改善ではなく、長期的に継続できる仕組みづくりを重視します。



導入前の課題:夏祭りの現場から

参加人数の把握困難

事前予測数と実参加数に大きな差が生じ、配布物や景品の過不足が頻繁に発生していました。準備段階での判断が困難でした。

受付の混雑と遅延

紙の名簿で参加者を確認するため、一人ひとりの照合に時間がかかり、受付が大渋滞。参加者をお待たせする状態が続きました。

手作業集計の負担

イベント終了後、手書きの参加記録を集計する作業に多くの時間を要し、転記ミスも発生。正確な実績把握が困難でした。

データ照合の困難さ

事前予測数と当日実績の照合が手作業では限界があり、次年度の計画立案に必要なデータ分析ができませんでした。

導入した仕組み ① QRコード受付

データベース作成

事前アンケート結果をもとにExcelで参加者情報を整理。個人情報ローカル管理で安全性を確保します。

QRコード発行

Word差し込み印刷機能で各世帯固有のQRコード付き参加券を自動生成。手作業による作成は不要です。

受付で読み取り

PC接続のQRコードリーダーでスキャン。瞬時にExcelへ自動記録され、リアルタイムで集計されます。

データ活用

イベント種別に応じて設定変更可能。収集したデータは次年度の改善に活用できます。

この仕組みは特別なシステム開発を必要とせず、Excel・Word・市販のQRコードリーダーという身近なツールだけで実現できます。

①_1 データベース・QRコード参加券

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	受付リスト									
2	組	氏名	参加予定	受付予定時間帯	お子様人数	飲み物1	飲み物2	飲み物3	受付済み	受付時刻
3	1組	西村 景	なし							
4	1組	安田 誠	なし							
5	1組	中村 誠	あり		2	2 ジュース	お茶	発泡酒		
6	1組	市川 孝次	あり		1	2 お茶	お茶	ライチ		
7	1組	林 祥太	あり		1	0 お茶	アクエリアス	ライチ		
8	1組	森 誠	なし							
9	1組	吉田 文典	あり		2	1 ジュース	ジュース	ジュース		
10	1組	吉田 勤一	あり		1	3 ジュース	発泡酒	発泡酒		
11	1組	安藤 秀夫	あり		2	0 ジュース	ジュース	ジュース		
12	1組	中村 孝臣	なし							
13	1組	磯村 洋司	なし							
14	1組	鈴木 寛	あり		2	1 ジュース	ジュース	ジュース		
15	1組	武田 良之	あり		2	0 ジュース	お茶	ライチ		
16	1組	林 祥太	あり		0	ジュース	お茶	発泡酒		
17	1組	市川 孝次	なし							
18	1組	林 祥太	なし							
19	1組	永田 寛	あり		2	1 発泡酒	発泡酒	発泡酒		
20	1組	磯村 洋司	あり		2	0 お茶	お茶	ライチ		
21	1組	安藤 秀夫	あり		2	0 発泡酒	発泡酒	発泡酒		
22	1組	加藤 昌幸	なし							
23	2組	林 文典	あり		1	0 発泡酒	発泡酒	発泡酒		
24	2組	森 誠	なし							
25	2組	永田 寛	あり		1	4 ライチ	ライチ	ライチ		

1組 舞木 太郎 様

夏のタベ 舞木ふれあい祭り

【会場】舞木町八柱神社 境内
【日時】令和7年8月14日(木) 午後4時~7時
受付 午後3:45~6:30

【主催】舞木町自治区

・BINGO大会
午後5時30分~



・飲み物 & 綿菓子



・お子様向けイベント



・キッチンカー



< 参加券 >

- ※宛先等にてQRコードの提示をお願いします
- ※BINGO大会に参加される方は5:25までに受付を済ませてください
- ※お子様の人数を正確に申告いただきますので、お子様とご一緒に受付してください
- ※受付後、BINGO大会終了後飲み物・綿菓子・キッチンカー・交換券が並びます(交換券は子供1人につきイベント券5枚を対応します)
- ※参加費は、お茶・ジュース・発泡酒・綿菓子・キッチンカー・交換券
- ※参加費は当日忘れずにご持参ください



導入効果 ①_4 QRコード受付の成果

作業時間を大幅削減

延べ受付作業時間が従来の約10分の1に短縮されました。

記入漏れゼロ

重複チェックや記入漏れが完全になりました。

正確性の向上

デジタル記録により、データの正確性が大幅に向上しました。

その他の効果

- ・参加状況をリアルタイムで把握可能
- ・配布物・景品数量の過不足をほぼ解消
- ・役員の集計・報告作業を大幅に軽減
- ・次年度計画のためのデータ蓄積



導入した仕組み ② デジタルサイネージ

01

大型モニター設置

65インチの大画面モニターを敬老会会場に設置。高齢者の方々にも見やすい視認性を確保しました。

02

コンテンツ表示

式次第、来賓紹介、地域の思い出写真などをスライド形式で表示。手書きホワイトボードから大きく進化しました。

03

柔軟な更新対応

事前準備はもちろん、直前の変更や修正にも即座に対応可能。デジタルならではの柔軟性を実現しています。

04

テンプレート活用

次年度以降も同じテンプレートを再利用でき、準備時間を大幅に短縮できます。





導入効果 ②_1 デジタルサイネージの成果



視認性の大幅向上

高齢者の方々にも見やすい大画面表示により、式次第や来賓紹介が会場の隅々まで明確に伝わります。



柔軟な内容変更

来賓の急な変更や式次第の修正にも即座に対応。手書きボードの書き直しから解放されました。



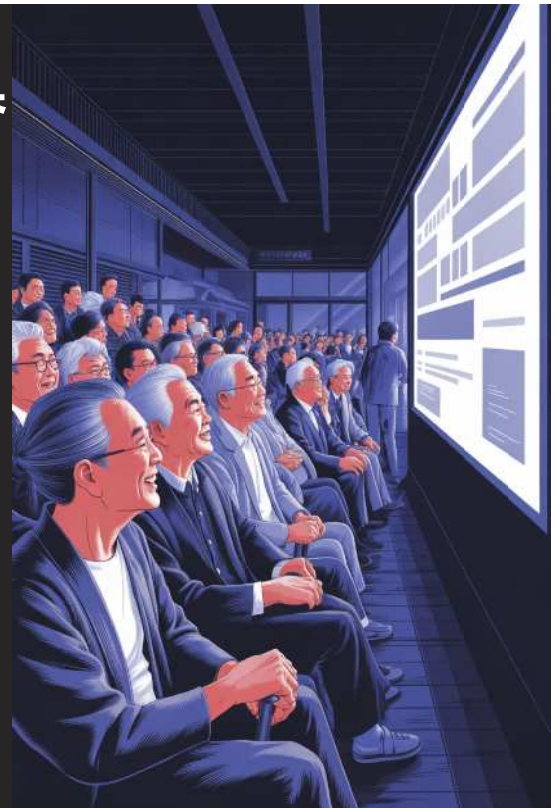
演出力の向上

地域の歴史写真や思い出の映像を織り交ぜ、華やかで心に残る演出が可能になりました。



多様な応用可能性

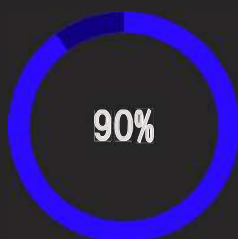
開票速報、防災情報、地域掲示板など、様々な場面での活用が期待できます。



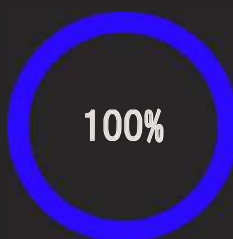
デジタル化の成果まとめ：導入前後の比較

項目	導入前	導入後
延べ受付作業時間	約3時間(名簿照合・手入力)	約20分(自動記録・確認)
集計作業	手入力・再確認に時間要	QR読み取りと同時集計
配布物過不足	頻発	ほぼゼロ
情報共有	紙掲示・回覧	モニター表示で統一
記録精度	手書き・転記ミス発生	デジタル記録で精度向上

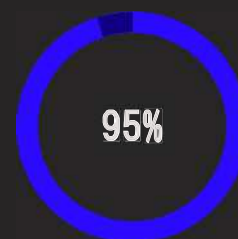
※延べ作業時間は担当者全体の累計時間です。複数の役員が関わる作業全体を合算した数値となります。



作業時間削減



記録精度向上



配布物適正化

課題と今後の展望

現在の課題

QRコードの限定的活用

アンケート情報が未統合のため、完全なペーパーレス化には至っていません。

設置・運用面の制約

- ・電源確保の問題
- ・設置スペースの制約
- ・運用時間帯の調整

今後の展望

完全ペーパーレス化
アンケート情報をQRコードに統合し、紙の配布物を完全に廃止します。

日常的な情報発信
モニターを常設化し、ごみ収集日、防災情報、行事予定などを日常的に発信します。

地域全体への拡大
成功事例を他の地域活動にも横展開していきます。

まとめ：舞木町モデルの可能性

事務の効率化を実現

延べ作業時間の大幅削減と正確性の向上により、役員の負担を軽減し、本来の地域活動に注力できる環境を整えました。

情報格差の是正

デジタルサイネージによる視認性向上とリアルタイム情報提供により、すべての住民に等しく情報が届く仕組みを構築しました。

持続可能な運営基盤

身近なツールを活用した誰でも使える仕組みにより、特定の人に依存しない持続可能な地域運営を実現しました。

小さな一歩から確実な変化へ

舞木町自治区の取組は、特別な予算や専門知識がなくても、身近なICTツールを活用することで地域運営を大きく改善できることを示しました。

この「舞木町モデル」が他の自治区にも波及し、豊田市全体の地域運営のスマート化につながることを期待しています。



ご清聴ありがとうございました

舞木町自治区の挑戦は続きます

本日も紹介した取組は、まだ始まったばかりです。今後も地域の皆様と共に、より良い地域運営を目指して改善を続けてまいります。

他自治区の皆様との情報交換や協力を通じて、豊田市全体の地域力向上に貢献できれば幸いです。

お問い合わせ・ご質問がございましたら、
お気軽にお声がけください。



付録：② 技術仕様と導入コスト

QRコード受付システム

- 使用ソフトウェア：Microsoft Excel、Microsoft Word
- 必要機器：PC（既存）、QRコードリーダー（約12,000円）
- 導入期間：約1カ月間（設計・テスト含む）

デジタルサイネージ

- 機器：65インチモニター（デジタル活用支援補助事業交付金活用購入）
- ソフトウェア：無料アプリ「時間割看板」
- 導入期間：約3日間（設計・テスト含む）
- 運用：イベントごとに設置・撤去

- 導入にあたっては、既存の機器やソフトウェアを最大限活用することで、コストを最小限に抑えています。特別な技術研修も不要で基本的なPC操作ができれば運用可能です。

付録：③ QRコード開発システム 全体構成

- i 事前データ作成（Excel名簿）
 - 組/氏名/参加予定/飲み物/人数
 - QRコードID自動付与
- ii QRコード生成（Pythonツール）
 - openpyxl読み込み
 - qrcode生成
 - ログUTF-8 BOM
- iii 参加券作成（Word差し込み印刷）
 - QR画像差し込み
 - 組・氏名入り券配布
- iv 当日受付（PC + QRコードリーダー）
 - USBリーダーで即読み取り
 - Excel検索
 - 重複受付判定
 - 受付時刻自動記録
- v 集計・分析（Excel集計）
 - 飲料数/子ども人数/受付数の自動集計
- vi デジタルサイネージ
 - リアルタイム受付
 - 人数表示

水源町自治区改善取組み事項

地域が一体となって取り組む コミュニティカーシェアリング

令和7年11月28日（金）
水源カーシェアさくら会 会長
渡邊 敬一

水源町について



豊田市の南部に位置し、周辺にはトヨタ自動車（株）や、その関連企業が多くあり「車の町」を象徴する地域、また、水源町の東部には矢作川と公園（緑地）があり、毎年3月～4月頃に「水源さくらまつり」を開催している
平山・平和地区とは隣接している

水源町の概要

- ・面積：約58.4km²
- ・人口：約3,200人
- ・高齢者人口：約955人（割合：約30%）
- ・世帯数：約1,000世帯（自治会加入は971世帯）



トヨタ自動車本社



水源公園



トヨタ自動車（株）の発展とともに成長してきた団地で坂も多く、
高齢者にとって外出困難地域となっており共助交通の手段を検討していた

「車の共同利用による地域づくりの支援に関する連携協定」締結式
～豊田市・一般社団法人日本カーシェアリング協会～



R5年に豊田市と日本カーシェアリング協会で連携協定を締結

3



コミュニティ・カーシェアリングに関する説明会への参加

4

アンケート結果（一部）

13、カーシェアリングを詳しく聞きたいですか



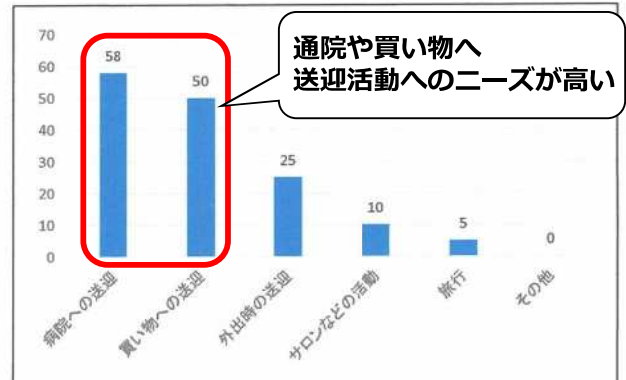
14、導入したら参加しますか



15、ドライバーをやっていただけますか



16、この活動で何をやってほしいですか



水源町自治区の全世帯（978世帯）へアンケートを実施（213名回答）

5



水源町自治区の住民を対象とした説明会を開催（R5.9月）

6



ドライバーなど運営メンバーを中心に勉強会等を実施（R5.10月～）

7



テスト運行のための車両として日本カーシェアリング協会からシエンタ1台が水源町へ到着！（R5年12月）

8



コミュニティ・カーシェアリングのテスト運行を開始！（R5.12月）

9

R6年4月より水源カーシェアさくら会として発足しました



11

現在の使用している車両です。

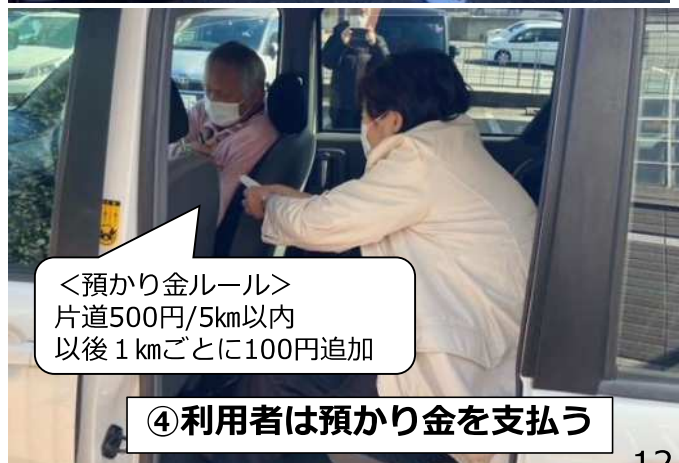


活動資金を確保するため、地元企業に協賛のお願いにいきました。その結果1社から協賛を獲得！現在は3社の企業から応援をいただいております。

10

運営方法

予約時間・目的地
移動距離など確認



12

利用のルール（抜粋）

① 利用方法

- ・利用時間は、原則9：00～16：00まで
- ・利用の予約は、遅くても前日の16：00まで
- ・個人利用：5kmまで500円、以後1kmごとに100円追加。

② 経費を平等に分担する

- ・活動で発生する経費（車両リース料、保険代、燃料代等）を分担するため、利用の都度お金を預けて年度末に清算する

③ 利用できない条件

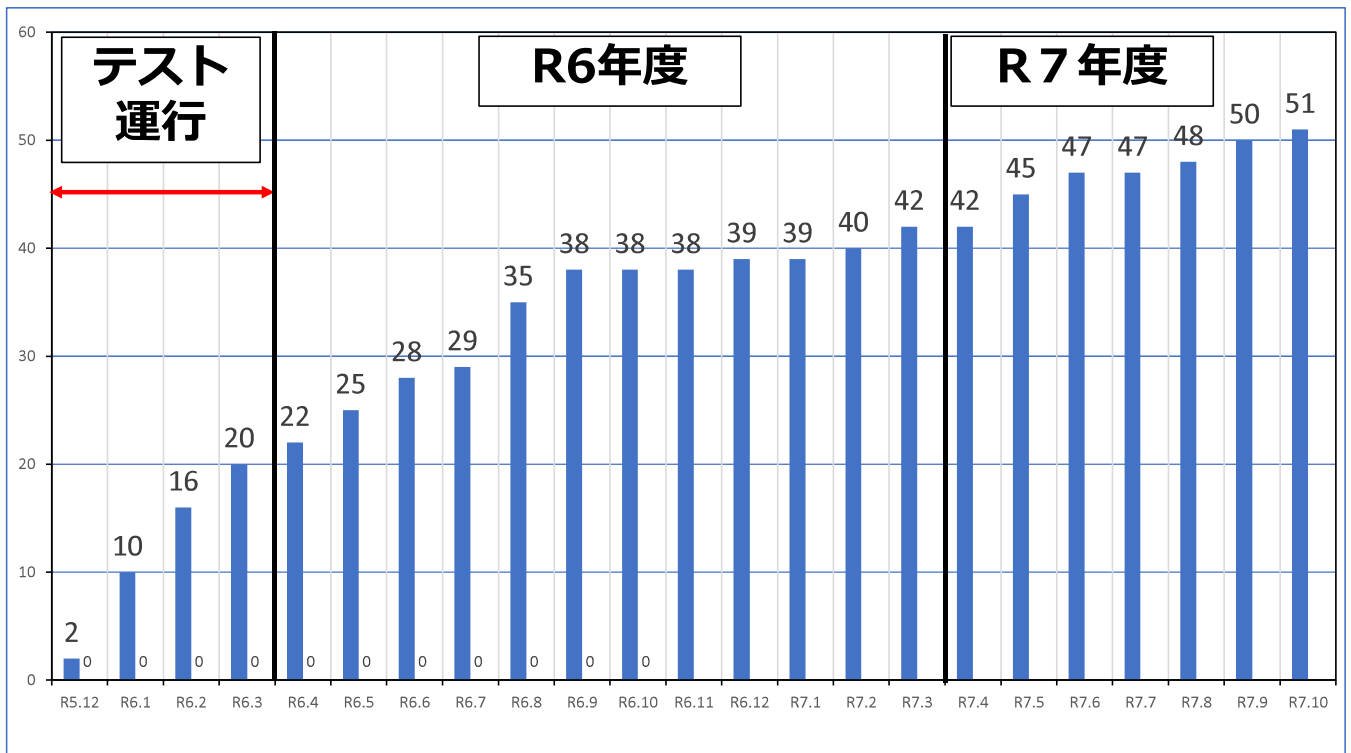
- ・天候不良やドライバーの体調不良など、利用できないことがあることを理解したうえで加入していただく

④ 事故発生時

- ・事故が発生したときは保険の範囲内での補償となり、ドライバーに賠償を求めたり責任を追及しないことを会則で定める

13

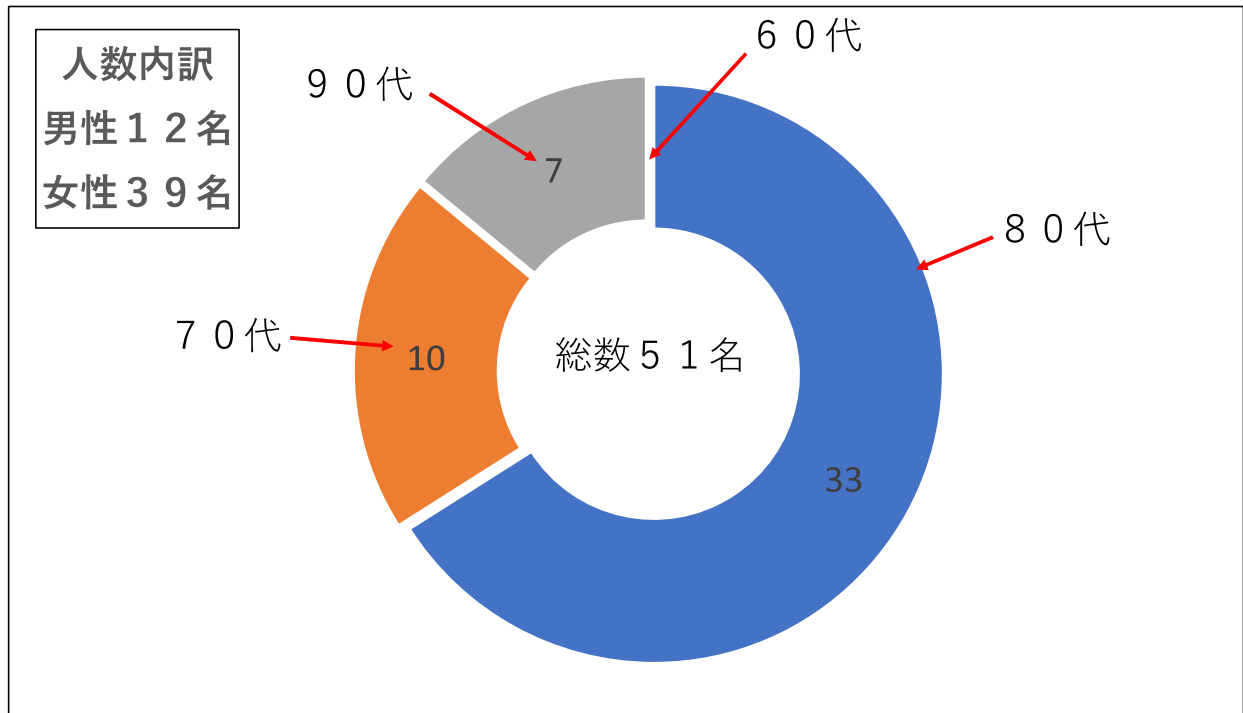
会員数の推移



利用者による口コミ効果で毎月少しずつ増加しています

14

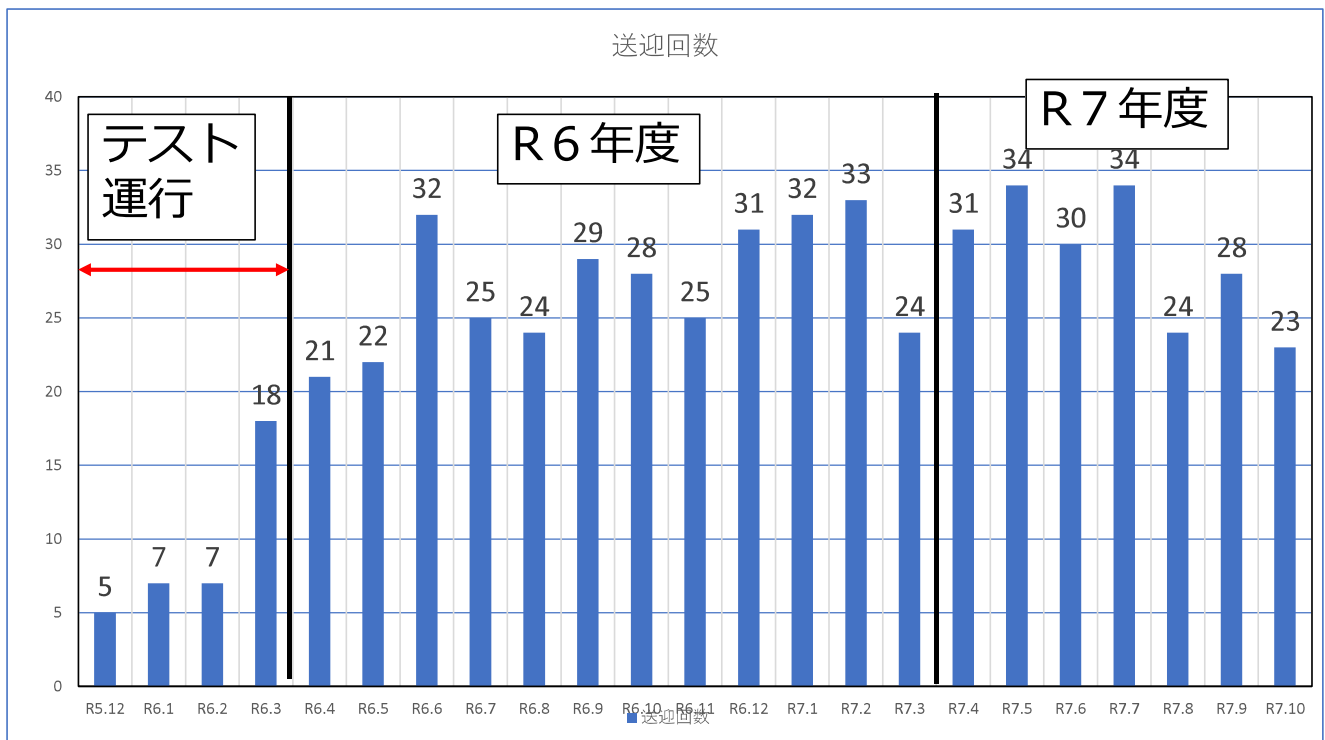
人数内訳（年代別、性別）



利用者の中心は80代の高齢者

15

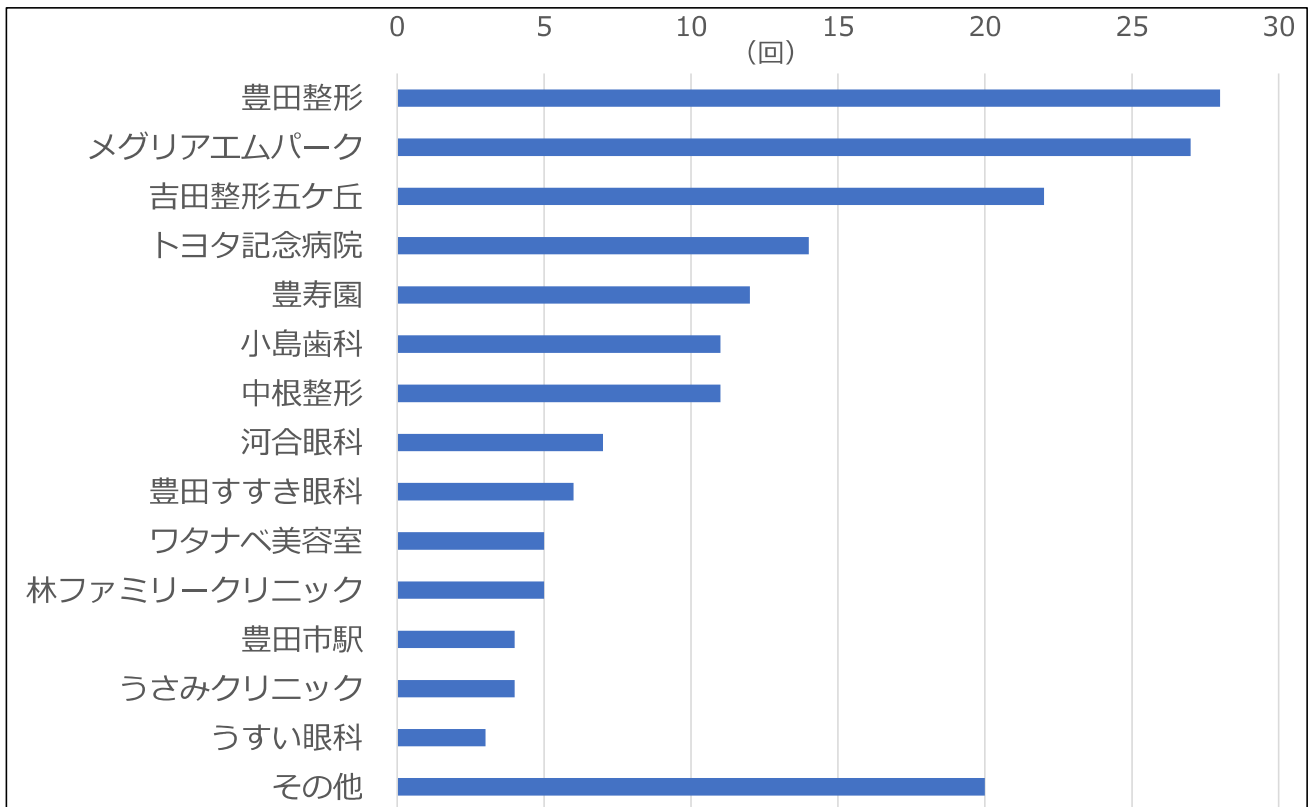
送迎活動（外出支援）の回数



送迎については、ほぼ毎日用命があり活動は活発に推移している

16

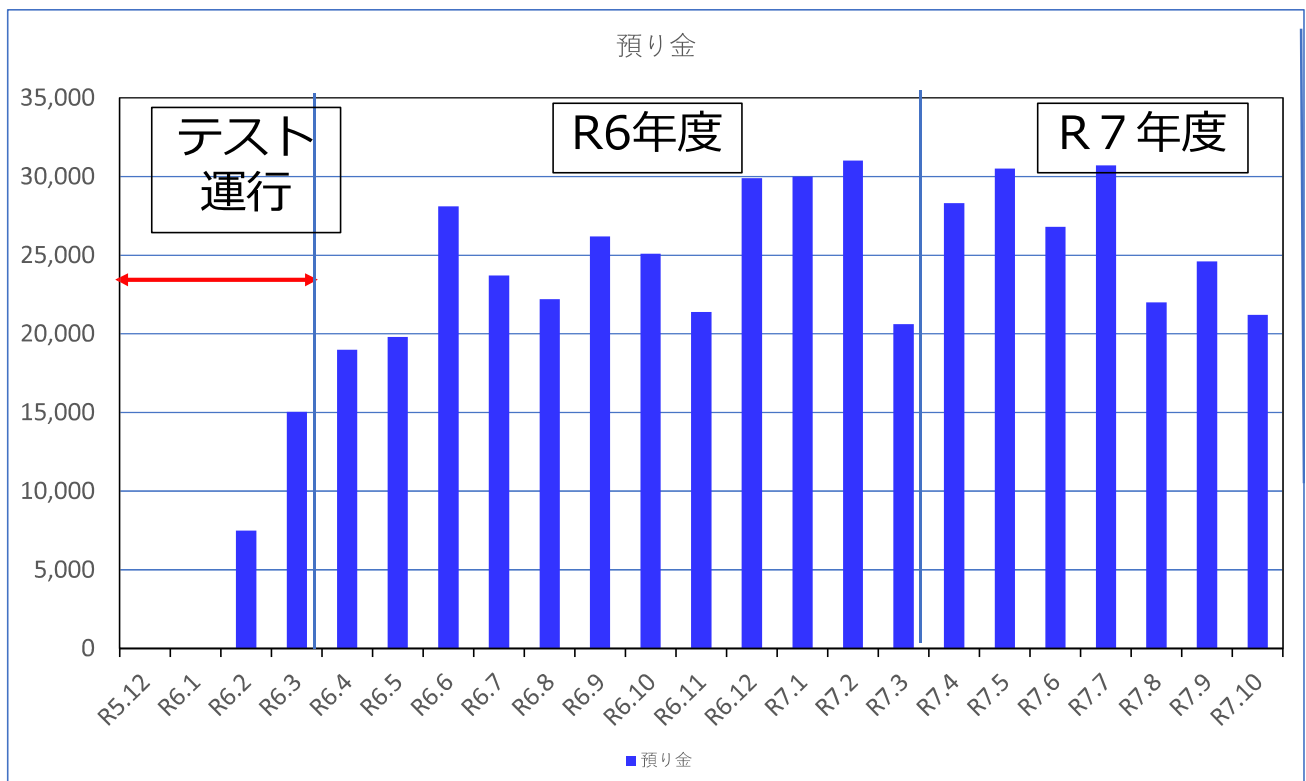
主な目的地



利用目的は主に通院が多く、次いで買物が続く

17

預り金の推移



会員の方の利用実績の応じて預り金をいただきます

18

活動の成果

1. 利用者の声

- (1) これまで病院に行くのに大変な時間と費用を負担していたが、カーシェアのおかげで、わずかな費用で、送迎してもらえて大変ありがたいです。
- (2) 足が弱って以来、近くのスーパーへ行くこともできなかったが、自由に買い物に行けて、大変助かります。
- (3) 免許証を返上して以来、自由に外出できなくて大変不便を感じていましたが、カーシェアのおかげで行きたいところへ行けるようになり大変感謝してます。
- (4) 車いす生活のため外出に苦勞していたが、カーシェアのおかげで、病院や床屋に行けてありがたいです。
- (5) 友人と連れ立って食事や趣味の集まりに出かけられるようになり、楽しみが増えました。

19

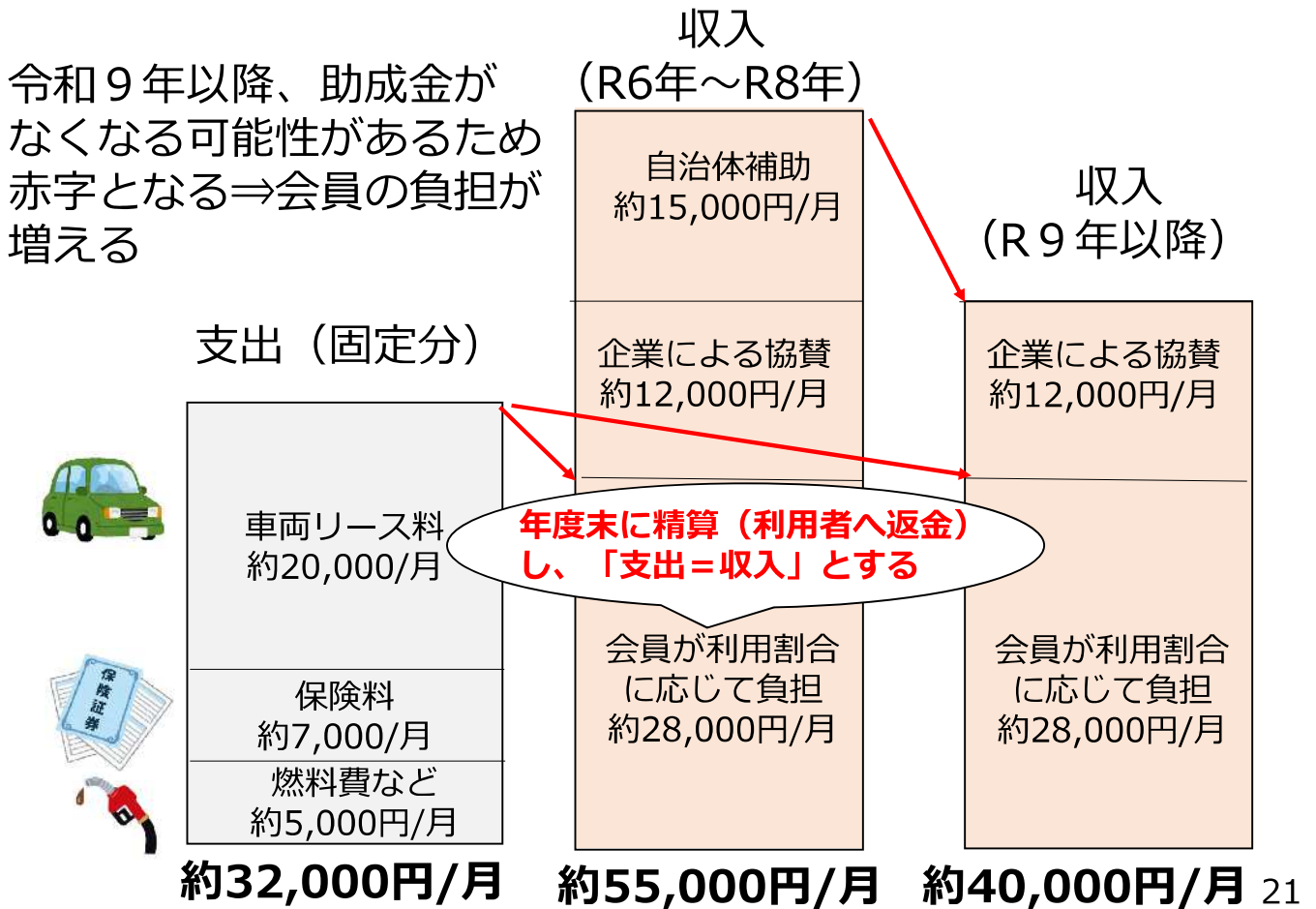
活動の成果

2. ボランティアドライバーの声

- (1) ドライバーとして、自治区の高齢者の方の送迎を通してこれだけ外出することにご苦勞されている方がいらっしゃることを知り、この活動に意義を感じました。
- (2) 送迎をされる方から、いつも大変喜んでいただき、感謝の言葉をいただくことにより喜びを感じます。
- (3) これまで外出もままならず、不便を感じていた方の外へ出てお友達とあったり、交流するお手伝いができることがうれしいです。
- (4) 要介護者についても、付添いの方同伴ならば、車いす生活の方でも外出のお手伝いができることに意義を感じます。
- (5) ドライバーは全員、活動を通じてやりがいを感じています。

20

水源カーシェアさくら会の収支比較



今後の活動について

(1) 継続的な活動

- ・利用者及びドライバーを増員し、持続的な活動にする。
- ・移動の支援だけでなく、サロン活動・お茶会・旅行などみんなで支え合える地域づくりを目指す。

(2) 運営資金の確保

- ・少しでも会員の負担を減らすため、活動を理解して支援していただけるスポンサー企業を増やしていく。

(3) 他地域への展開

- ・水源町自治区でのカーシェアリング活動が軌道にのってから、他の自治区からも多くの関心をいただき、問い合わせや、見学、説明会などを行ってきました。その結果、平山、平和町地区で新たなカーシェアのグループが発足いたしました。

平山、平和町自治区の事例紹介

平山自治区・平和町自治区合同
カーシェアリング「スマイル会」

高齢者移動支援

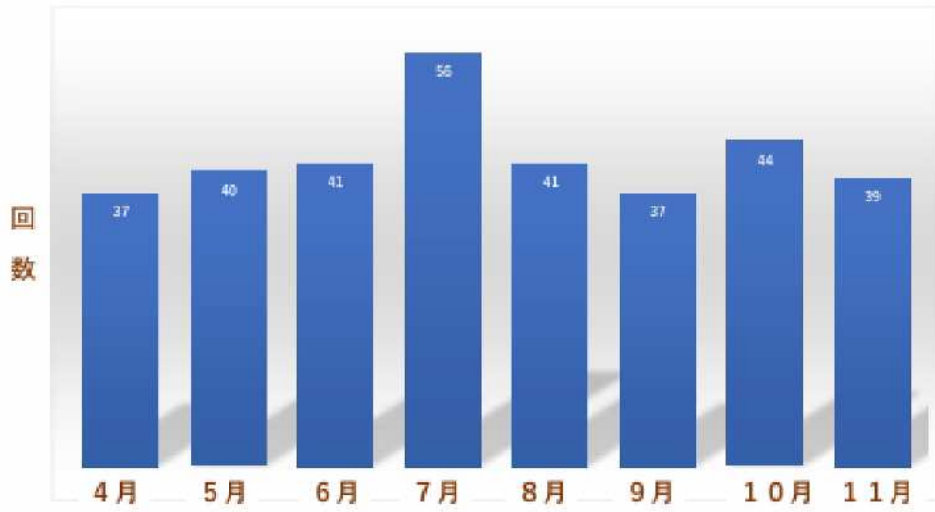
23

発足 令和7年4月1日
会員数 44名(ボランティアドライバー8名含む)
年令 被送迎者平均**83才**(74才~90才) 男性8名 女性28名
ドライバー平均**73才**(56才~78才) 男性5名 女性3名



24

送迎実績



25



ご清聴ありがとうございました

LINEによる自治区の情報発信について

令和7年11月28日

五ヶ丘第5自治区 区長 中山 修
五ヶ丘第8自治区 区長 高村 伸一

発表の内容

1. 五ヶ丘 及び 自治区を紹介
2. LINE回覧開始のきっかけ
3. LINE回覧用オープンチャット(OC)の作成
4. LINE回覧の実施状況
5. 登録数の推移
6. 課題と今後の対応案

1. 五ヶ丘 及び 第5、第8自治区の紹介



■五ヶ丘世帯数
2400世帯
(約5800人)

■五ヶ丘第1～
第8自治区
⇒五ヶ丘自治区
連合会を組織

■五ヶ丘自治区連合会
企画行事
⇒夏祭り、健康ウォーク、
防災フォーラム

1.1. 地理

豊田市の中心市街地より東南方約4kmに位置しており、高橋地区の南部に位置している。元々丘陵地であったところを住宅・都市整備公団が1980年代に開発したニュータウンであり、町の中心には遊歩道が整備されている。

中央遊歩道



五ヶ丘公園



五ヶ丘運動広場



五ヶ丘運動広場隣接のマレットゴルフ場



1.2. 町名の由来

草笛の丘・太陽の丘・鐘のなる丘・見晴らしの丘・万葉の丘の5つの丘に住宅街が囲まれていることに由来する。

草笛の丘 入口



太陽の丘 入口



鐘のなる丘 入口



見晴らしの丘 入口



見晴らしの丘からの景観



万葉の丘 入口



1.3. 五ヶ丘自治区連合会の行事

(1) 五ヶ丘連合夏祭り

キッチンカー、模擬店は毎年大人気

自前のやぐら



グランバス音頭講習



松平手筒花火によるファイナル

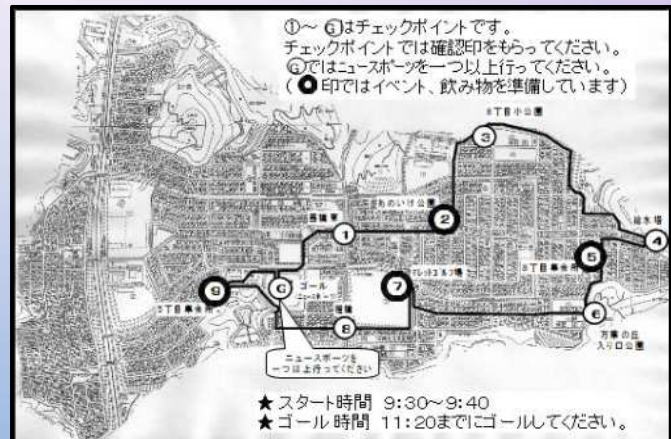
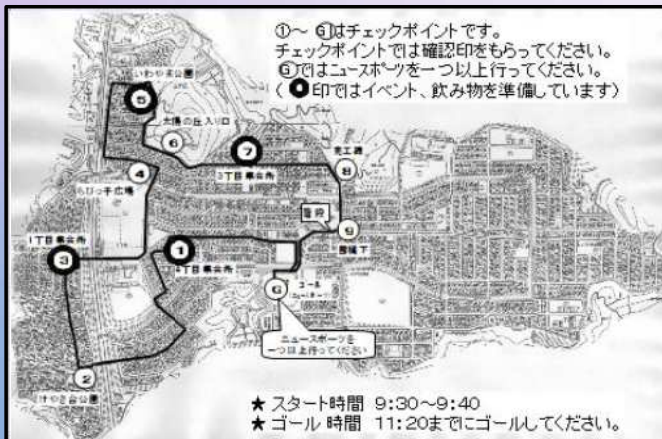
1.3. 五ヶ丘自治区連合会の行事

(2) 健康ウォーク[1/2]

五ヶ丘グラントをスタート&ゴールとしたウォーキングラリーで、チェックポイントでチェックを受けながら集会所でゲームやくじ引きで賞品をゲット。

西コース(1~4丁目)

東コース(5~8丁目)



1.3. 五ヶ丘自治区連合会の行事

(2)健康ウォーク[2/2]

受付の様子



いざ出発!



各集会所で、くじ引き/
ゲーム実施!外れ無し!



WRCラリーカーで盛り上げ



最後はゴールで
お楽しみ抽選!



1.3. 五ヶ丘自治区連合会の行事

(3)防災フォーラム(旧 災害体験会) [1/2]

体験事例発表会風景(令和4年度)



聴講者240名を集め、
災害の恐ろしさを学ぶ

体育館内展示風景



AED体験・指導
ブース(中消防署)

DCM(カーマ)さん
のご協力による
防災品の展示



1.3. 五ヶ丘自治区連合会の行事

(3)防災フォーラム(旧 災害体験会) [2/2]

電動車からの給電の展示(SAKURAプロジェクト)



トヨタLQ(EV車)の展示
停電時の電動車のありがたみ実感

防サイ君による震度7の体験

屋外での防災体験



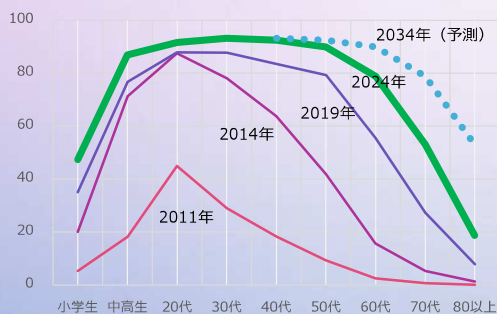
水消火器体験(消防団)



2. LINE回覧開始のきっかけ [1/3] (第5自治区)

ネット接続にスマートフォンを使う人が増えている

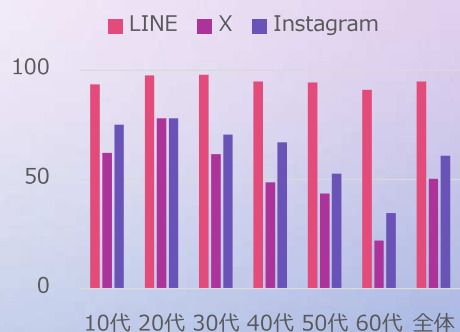
図1 ネット接続端末のスマホ利用率



(出典) 令和7年総務省「通信利用動向調査」を基に作成

「LINE」が一番よく使われているアプリ

図2 SNSの利用率比較



LINEを使えば
もっと簡単に、もっと早く、みんなに情報を届けられる

(注記)LINEはパソコンやタブレットでも利用可

2. LINE回覧開始のきっかけ [2/3] (第5自治区)

もちろん、紙の回覧板は、地域の“根っこ”

LINE回覧板は、“風に乗る葉っぱ”

どちらも大切にしながら、
できる人から、少しずつ……始めていこう

LINE回覧板のメリットは……

情報がすぐ届く → 落とし物の情報が30分で解決する

直接一人一人に届く → 共働き世帯や若い世代にも届く

回覧情報が残る → 過去の回覧板を確認できる(6ヶ月)

コストはゼロ(5,000人まで)



2. LINE回覧開始のきっかけ [3/3] (第5自治区)

熊本地震や能登半島地震でLINEが一番多く使われていた……家族や近所の人との連絡手段として

■ 能登半島地震(n=788) ■ 熊本地震(n=862)

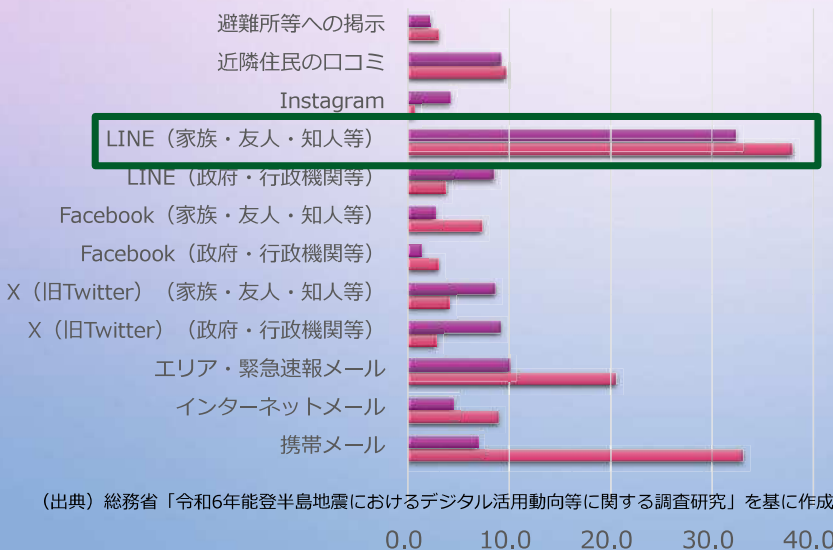
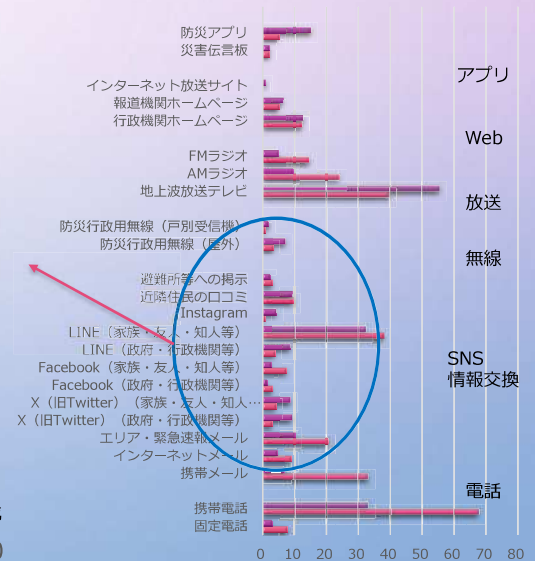


図3 発災時に利用した手段の利用率



3. LINE閲覧用オープンチャット(OC)の作成

3.1. オープンチャットのセキュリティ [1/3]

プライバシーが守られていて、安心して使える

名前や電話番号が出ない仕組みになっている

個人に直接メッセージ・電話が届かない

独自のルール設定によって、さらに安心に

組・苗字で登録……なりすまし防止

投稿できるのは管理者だけ……誤った情報が流れる心配がない

不測事態の支援要請は投稿可能
(とくに、ろう者・避難行動要支援者を想定)

表1 LINE種類の比較

LINEの種類	通常	OC
匿名性	なし	あり
個人間の電話やメッセージ送信	可	不可
途中参加からの過去情報の閲覧	不可	可
向いている使い方	家族 友人	町内 地域

3. LINE閲覧用オープンチャット(OC)の作成

3.2. オープンチャットグループの作成手順 [1/3]



(1) LINE
アプリ
タップ

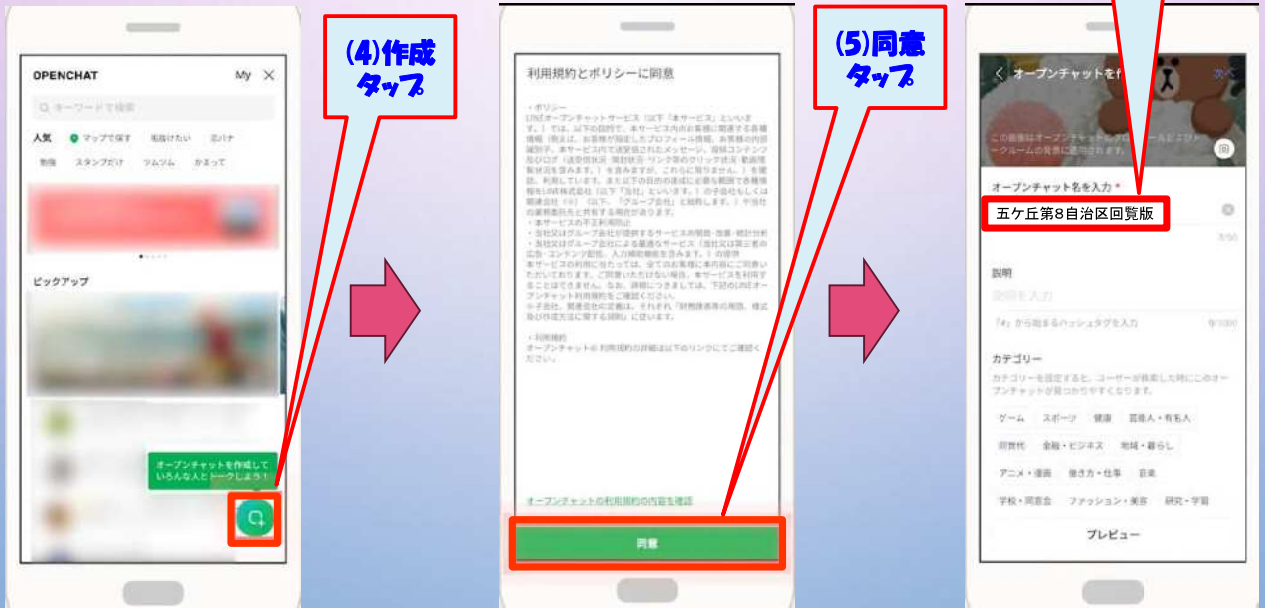


(2) トーク
タップ

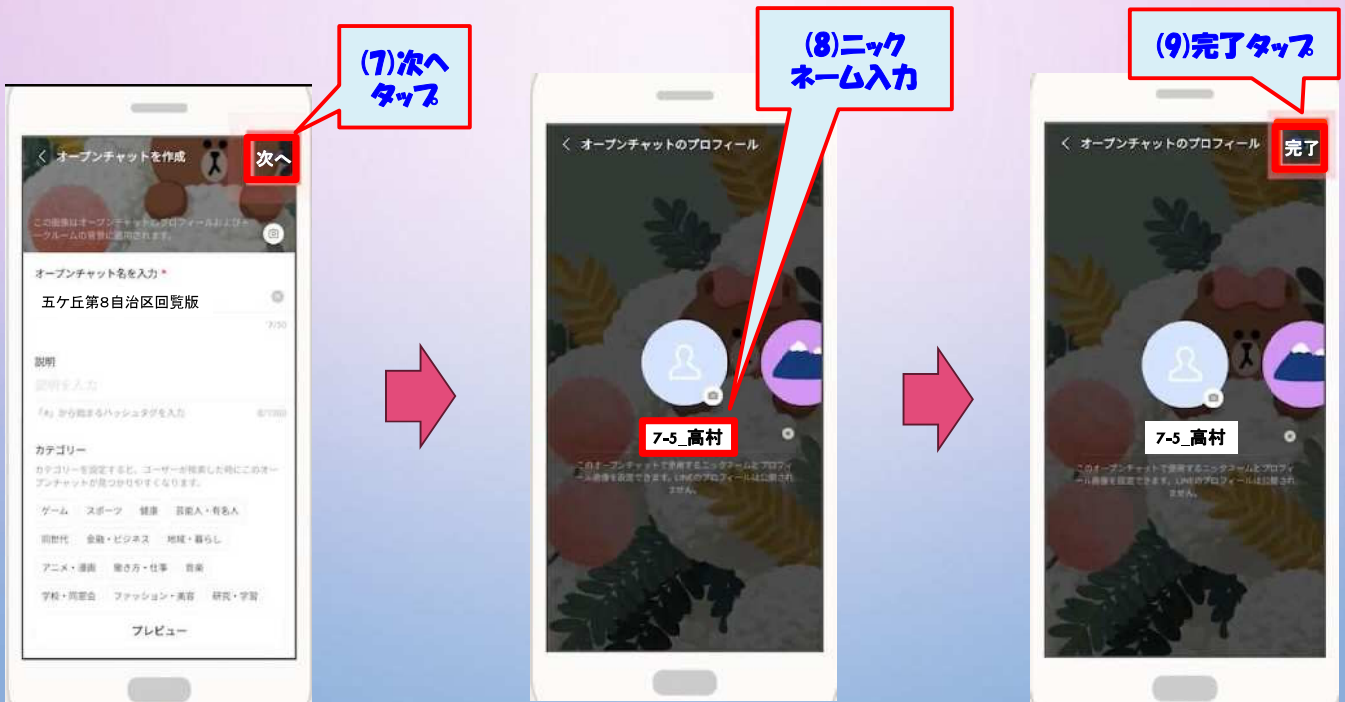


(3) オープンチャット
タップ

3.2. オープンチャットの作成手順 [2/3]

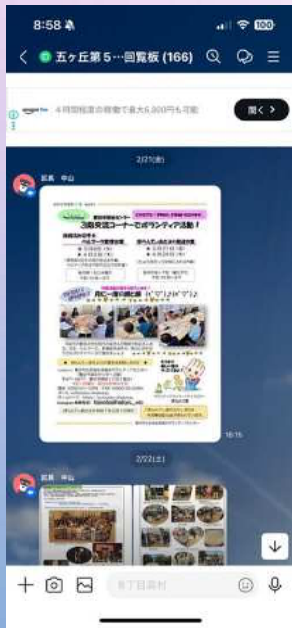


3.2. オープンチャットの作成手順 [3/3]



4. LINE回覧の実施状況

4.1. 五ヶ丘第5自治区



第5自治区
最初の画面
(R7.2.2)

LINE回覧板のお知らせ (はじめの一步)

2025/3/16 五ヶ丘第5自治区

この度、五ヶ丘第5自治区では、現用の紙の回覧版に加え、新たにLINEを活用した回覧版を試験的に運用します。

まずは、電子回覧によって、①回覧情報をリアルタイムにいつでもどこでも素早く読める形にして、直接一人一人に確実に届けること、②環境美化などイベントの連携がなすは連絡、の2点に重点を置いた運営でスタートします。紙と全く同一の回覧に加え、他の自治区と比べても回覧します。

防災を見据え、役員・組長・区民すべての中間の削減等、高齢化対策として必要な自治区全体の負担軽減を目的としておりますので、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

お手数ですが下記をご確認の上、LINE回覧版への参加登録にお進みください。幅広い世代で一人一人が参加できます。世帯単位ではありません。

電子回覧を希望されない方に対しても、従来同様の対応を継続しますのでご安心ください。紙の回覧は原則月1回です。

◆匿名で参加できる「LINEオープンチャット」にて回覧版を配信します
昔ながらLINEを利用されている方は、QRコードを読み取っていただく、すぐに「LINEオープンチャット」に参加することができます。
オープンチャット用の「ニックネーム」で参加することができます。自分のLINEアカウント（連絡先）が他の方に知られることはありません。他の方を「友だち追加」する必要はなく、他の方から個別にメッセージが届くことはありません。プライバシー保護の高いツールとなりますのでご安心ください。

◆参加方法
下記のQRコードを読み取り、【新しいプロフィールで参加】→【ニックネームを入力】→【参加】をタップしてください。
ニックネームは「組名・番地」としてください。(例 20・23・中山)
回覧版独自のルールとして、返信・スタンプ・リアクションはなさないでください。

◆LINEオープンチャット
皆さんがよくお使いのLINEグループとは違い、自分のLINEアカウントは他のメンバーと繋がらない。AさんからBさんへ個別にメッセージを送ることはできません。
オープンチャット用の「ニックネーム」で参加できるので、プライバシーの保護性が高い。スマホでもパソコンでも使えるし、TPOに合わせて両方を使いこなせます。

スマホからは、



PCからは、

https://line.me/g/j/line-chat?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

PCの場合は、あらかじめ、microsoft store からLINE Desktopのインストール(無料)が必要です。

4.2. 五ヶ丘第8自治区



第8自治区
最初の画面
(R7.7.13)

全戸配布

2025/7/13

五ヶ丘第8自治区

区長 高村

自治区情報デジタル化初めの一步 「LINE回覧版」のお知らせ

この度、五ヶ丘第8自治区では、現用の紙の回覧版に加え、新たにLINEを活用した回覧版を試験的に運用します。

まずは、電子回覧によって、
①回覧情報をリアルタイムにいつでもどこでも素早く読める形にして、直接一人一人に確実に届けること
②環境美化など自治区・連合イベントの開催・中止連絡の迅速化・徹底化の2点に重点を置いた運営でスタートします。紙と全く同一の回覧に加え、他の自治区の情報等も回覧します。

防災を見据え、役員・組長・区民すべての中間の削減等、高齢化対策として必要な自治区全体の負担軽減を目的としておりますので、ご理解ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

お手数ですが下記をご確認の上、LINE回覧版への参加登録にお進みください。幅広い世代で一人一人が参加できます。世帯単位ではありません。

電子回覧を希望されない方へも、従来同様の紙の回覧は継続しますのでご安心ください。

◆「LINEオープンチャット」にて回覧版を配信します
昔ながらLINEを利用されている方は、QRコードを読み取って頂く、すぐに「LINEオープンチャット」に参加することができます。
オープンチャット用の「ニックネーム」で参加することができます。自分のLINEアカウント（連絡先）が他の方に知られることはありません。他の方を「友だち追加」する必要はなく、他の方から個別にメッセージが届くことはありません。プライバシー保護の高いツールとなりますのでご安心ください。
LINEオープンチャットはスマホでもパソコンでも使えるし、個人の状況に合わせて両方を使いこなせます。

◆参加方法
下記のQRコードを読み取り、【新しいプロフィールで参加】→【ニックネームを入力】→【参加】をタップしてください。
ニックネームは「番地・自治体」としてください。(例 1-8 高村)
回覧版独自のルールとして、返信・スタンプ・リアクションはしないでください。

スマホからは、



パソコン(PC)からは、

https://line.me/j/g2/qjT4tRe_NvVvixRDqk6HDoYORFG3wF8xQjH2Q?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

PCの場合は、あらかじめ、microsoft store からLINE Desktopのインストール(無料)が必要です。

4.3. LINE回覧の内容

基本は紙回覧のデータをアップ

社協からの類影状もアップ

広報とよたとリンク



5. 登録数の推移 (第5自治区)

半年でLINE利用世帯の90%がLINE回覧板に登録
 ・ 当初の目標は達成、
 ・ 今後は、家族一人ひとりへの情報共有の進め方が課題

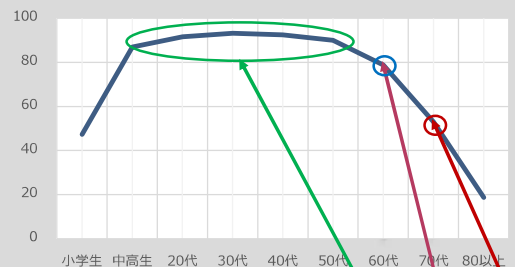
表2 令和6年10月1日現在のLINE回覧板登録状況

項目	登録数/推定LINE利用者数	推定登録率
住民全体	165 / 366	45%
家族個人 (除く世帯主)	34 / 156	22% 今後の課題
世帯数	131 / 145	90% ほぼ目標達成

役員LINEグループ・組長LINEオープンチャットは100%登録で運用中
 ・ 日々の連絡はスムーズになり、当初の目標は達成
 ・ 今後、役員・組長にWeb会議システム導入をはかる

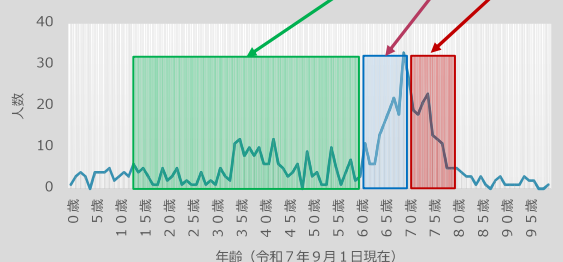
(注) スマホ利用率 (図4)、自治区年齢構成 (図5) を使って推定LINE利用者数・世帯数を算出

図4 ネット端末のスマホ利用率 (%)



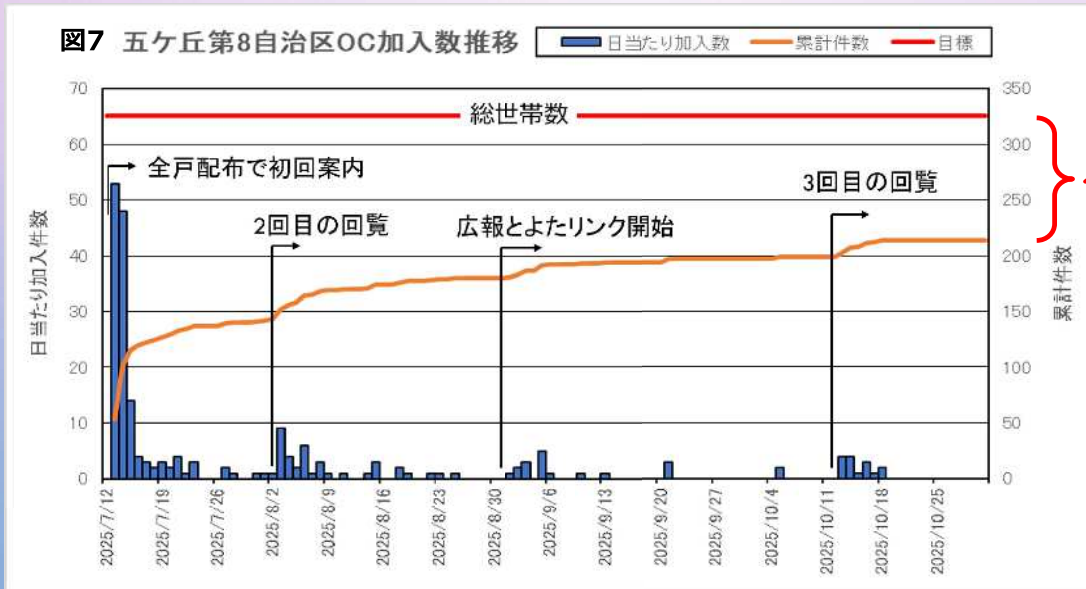
(出典) 令和7年総務省「通信利用動向調査」を基に作成

図5 五ヶ丘第5の年齢別人口



5. 登録数の推移 (第8自治区)

登録について第5自治区ほどの分析はできていないが、2回目のLINE-OCへの登録依頼の回覧、広報とよたのリンク化情報展開、3回目のLINE-OCへの登録依頼回覧ごとに登録件数は増加中。

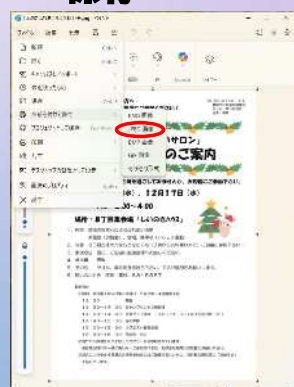
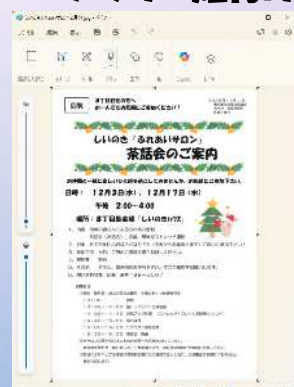
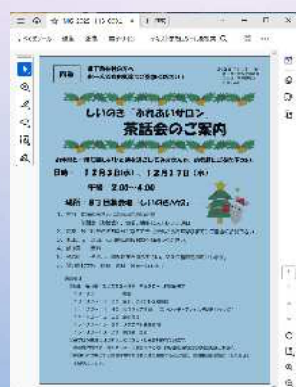


乖離があり、
まだまだ
道半ば

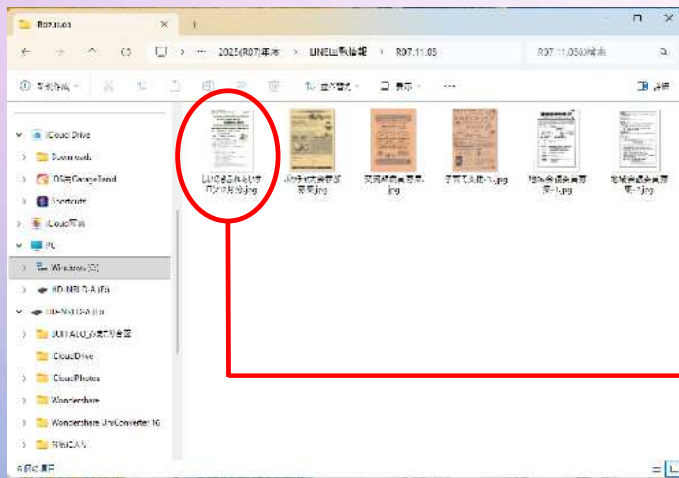
6. 課題と今後の対応案 [1/2]

6.1. 現状はアップロードするまでの手順が多い
⇒ 画像データ(JPEG)化する必要あり

- (1)PDF化 (2)PDFを開く (3)全画面コピー (4)ペイント等のアプリへ貼付け (5)JPEG形式で保存



(6)フォルダーへ保存



(7)OCヘドラッグ&ドロップしタイトル入力



- 【対応】(1)JPEG形式で保存可能な集会所の高性能コピー機の活用
- (2)五ヶ丘第5と第8自治区とでデータ共有し、画像データ化作業削減

6. 課題と今後の対応案 [1/2]

将来を見据えて、まだ3つの課題がある

家族一人ひとりには、まだ十分に情報が届いていない

若い世代や共働き家庭が、地域活動に参加しにくい

安否確認・伝言板や投票などの機能が、まだ使えていない

今後の4つの取り組み

誰もが参加しやすい
地域づくりを目指して

イベント会場での「LINE相談コーナー」の設置

若い世代向けの情報発信

安否確認・伝言板・投票機能の試験導入

役員・組長Web会議のためのパソコン整備

※ 酷暑・コロナ・インフルエンザ対策の準備でもあると位置づけ、役員・組長への貸与パソコン整備を推進中

6. おわりに

LINE回覧版は、まだ始まったばかりの取り組みです。

でも、みんなで少しずつ使いながら、地域のつながいを深めて
いけたらと思っています。

これからも、紙の回覧板と一緒に、

誰ひとり取り残さない地域づくりを目指してまいります。

**ご清聴頂き
ありがとうございました。**



豊田市民の誓い

わたくしたちは、七州をのぞむ美しい山河にかこまれ、
輝かしい衣の里の歴史と伝統をうけつぎながら、
明日に向かって伸びゆく豊田市の市民です。

- 1 緑をはぐくみ、川を大切に、
豊かな自然を愛しましょう。
- 1 スポーツに親しみ、教養を高めて、
文化の向上につとめましょう。
- 1 元気で働き、若い力をそだてて、
幸せな家庭をつくりましょう。
- 1 互いに助けあい、心の輪をひろげて、
あたたかい町をつくりましょう。
- 1 いのちを尊び、きまりを守って、
住みよい社会をつくりましょう。

(昭和53年3月1日制定)



「市民の誓いシンボルマーク」(平成18年制定)
「豊田市の花『ひまわり』の種をモチーフに、本文の5項目を明るいラインで表し、実践活動を通じて、わたくしたち市民の手で、豊田市を未来に向かって育て伸ばそう」という意味を表しています。